



2025 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ ク ノ 菱 和  
代 表 者 の 代 表 取 締 役 加 藤 雅 也  
役 職 氏 名 社 長 執 行 役 員  
(コード番号 1 9 6 5 東証スタンダード市場)  
問 い 合 せ 先 上 席 執 行 役 員 黒 田 長 憲  
C S R 推 進 本 部 長  
電 話 番 号 0 3 - 5 9 7 8 - 2 5 4 4

## 「中期 3 か年事業計画」数値目標の一部見直しに関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 13 日開催の取締役会において、下記のとおり、2024 年 5 月 14 日に開示いたしました「中期 3 か年事業計画（2024 年度～2026 年度）」において掲げた最終年度の数値目標の一部についての見直すことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 見直しの内容

最終年度（2026 年度） 数値目標（連結）

|      | 2027 年 3 月期目標<br>前回発表 | 2027 年 3 月期目標<br>見直し後 |
|------|-----------------------|-----------------------|
| 売上高  | 810 億円                | 910 億円                |
| 経常利益 | 60 億円                 | 105 億円                |
| ROE  | 10%以上                 | 10%以上                 |
| PBR  | 1.0 倍以上               | 1.0 倍以上               |

#### 2. 見直しの理由

当社は、「中期 3 か年事業計画」の初年度となる 2024 年度におきまして、当初は想定していなかった大型の案件の受注が相次いだ結果、最終年度の目標を上回る実績を計上することができました。また、手持ち工事の状況から勘案して、2025 年度につきましても相応の業績予想を見込んでおります。トランプ関税をはじめとする一連の先行き不透明な動きが世界経済並びにわが国の製造業に及ぼす影響は全くの未知数であることから、最終年度となる 2026 年度の業績見通しについて決して楽観視することはできませんが、中長期経営ビジョン「TECHNO RYOWA 2032」において成長戦略を標榜する当社としては、さらなる成長を目指すべく、今般、最終年度の売上高と経常利益の目標数値を見直すことといたしました。

なお、中長期経営ビジョン「TECHNO RYOWA 2032」の数値目標については、次の「中期 3 か年事業計画（2027 年度～2029 年度）」の策定時に見直す予定としております。

以 上